



# 小国中だより

小国町立小国中学校  
令和2年10月12日  
文責 八木幸夫

## 熊の目撃情報が相次いでいます

県内各地で、熊の目撃情報が相次いでおり、鶴岡市では住民が熊に襲われけがをするという恐ろしい事件が起きています。本町でも例年にも増して熊の目撃情報が報告されており、住宅街近くでの目撃情報も寄せられている状況です。

今の時期、冬眠前に体力を蓄えるために餌を求めて山を下りてくるケースが増えていると思われます。自然が豊かで、自然と共生する生活を営んでいる本町では、こうした熊との遭遇も想定し、適切な対応ができるよう心構えをしておく必要があります。



**熊出没注意**

### 熊に遭遇したら・・・注意点

#### 歩いているクマを見つけたとき

歩いているクマを近くで見つけたときは、動かずに呼吸を整えてクマの行動を観察し、足跡や声などで歩いている方向を確認してください。遠くに立ち去ったのを確認したら、回りの音などに注意しながら、クマが立ち去ったのと反対方向にゆっくり移動し、気配を感じなければ、次は音をたてながら普通に行動してください。

#### 至近距離で熊と遭遇したとき

クマによる直接攻撃など、過剰な反応が起きる可能性が高くなります。特に親子連れ、子グマと母グマが少し離れている場合などです。実際問題として、攻撃を回避する完全な対処方法はありません。クマは、攻撃的行動として、上腕で払いのける、つかみかかる、抱え込む、噛み付くなどの行動をしますが、ツキノワグマでは一撃を与えたあとにすぐ逃走するケースが多いとされています。多くは、顔面ならびに頭部が攻撃対象になるので、両腕で顔面や頭部を覆い、直ちに伏せるなどして、重大な障害や致命的ダメージを最小限にとどめることが重要です。

#### 熊がついてきたとき

クマが歩いてついてきた場合、人家や車などに近いときは転ばないように一定の速度で歩いてください。近くの民家などにたどり着いた場合は、そっと立ち去るのを待ちましょう。できれば外部の人と連絡を取り、周辺にいないことを確認してもらおうと安心です。車の場合は速やかに立ち去り、地域の方々に情報を伝えてください。近くに逃げ場がない場合は、開放的な場所を目指して転ばないように一定の速度で歩いてください。クマを刺激しないよう、飽きるまで根気よく一定の距離を保ちながら、クマが立ち去るのを待ちましょう。

【山形県ホームページ 「クマトラブルを防止しよう」より抜粋】

# 読書の秋

本を読むと、こんなすごいことが！

中間テストが終わり一段落。秋も深まりましたが、「読書の秋」を実践してみてもはどうでしょう。

## 読解力&文章力がアップ

本を読めば読むほど、この2つの力はアップします。「本をたくさん読む人ほど国語の成績が良い」のは事実。漢字もたくさん覚えられます。自分の好きな本を読むことで、自然と国語の力がつきますよ！

## 想像力をはぐくむ

物語などを読むと、登場人物やその光景などを自分の頭の中でイメージしますよね。読書を繰り返し続けることで自然と想像力が育ち、現実の場面でも友達の気持ちを考えることができたり、状況を冷静に判断することに役立ちます。

## 会話のネタが増える

最近では人気の本が映画化されたり、逆に映画がノベライズ(小説化)されることが多いので、本を読むことで周りの人とのコミュニケーションの話題として使えることも！好みが合う新しい友達もできるかもしれません。

## ストレス発散になる

「本を読むことでストレス発散に?!」と、ちょっと信じられないかもしれませんが、なんとイギリスの大学で行われた研究でそのような結果が出ているんです！ちなみに比較したのは「音楽鑑賞」「コーヒーを飲む」「散歩する」の3つ。この3つより「読書」の方がストレス発散効果が高いそうです。これは試す価値大！

## 保護者の皆さんへ

### 読書や体験を通して、子ども達は学びを深めます

『読書好き』は、『学び上手』につながります。家族そろっての読書タイムなどはいかがでしょう…。

読書は心を豊かにしてくれるだけでなく、学力を高めるうえで大きな意義があります。知識が豊富になる、表現力が身につく、創造力が豊かになる。知的な好奇心が高まり、学びへの意欲の高まりにつながります。

親が読書する姿を見せる、読書の時間を共有し、読書の話で語り合う…。子ども達の読書への意欲を刺激していきましょう。

#### 体験は心を耕し、豊かな感性を育みます。

体験は人を磨きます。体験することで得られる発見や気づき、感動や喜びは子ども達を「新たな興味」へと導いてくれます。感性が鋭く、自我が形成されるこの時期こそ、『見て・触れて・確かめる』様々な体験を家庭内でも積み重ねてあげてください。

